

L a b o T e x による E B S D 離散データの解析

2022年06月24日

HelperTex Office

概要

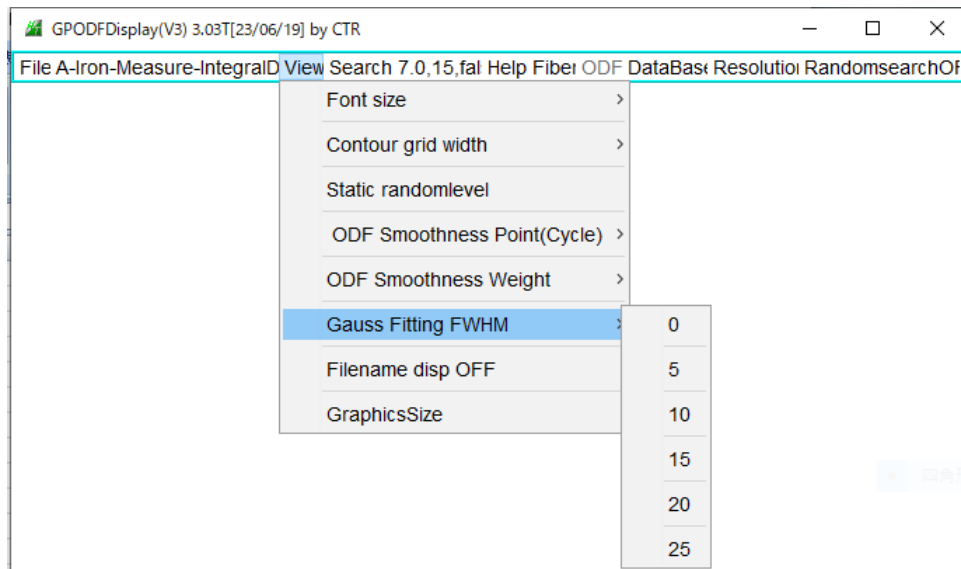
L a b o T e x は M T E X に 比 べ、 E B S D データのような離散データに対し、直接的な解析が行われている。M T E X は、解析結果に対し分散処理が行われている。

同じ分散処理を目的に、L a b o T e x 入力データの分散処理を E B S D t o O D F ソフトウェアで行った。あるいは、L a b o T e x の J o b データ対し平滑化を行った。

今回、M T E X と同じ分散処理を J o b 対して行いました。

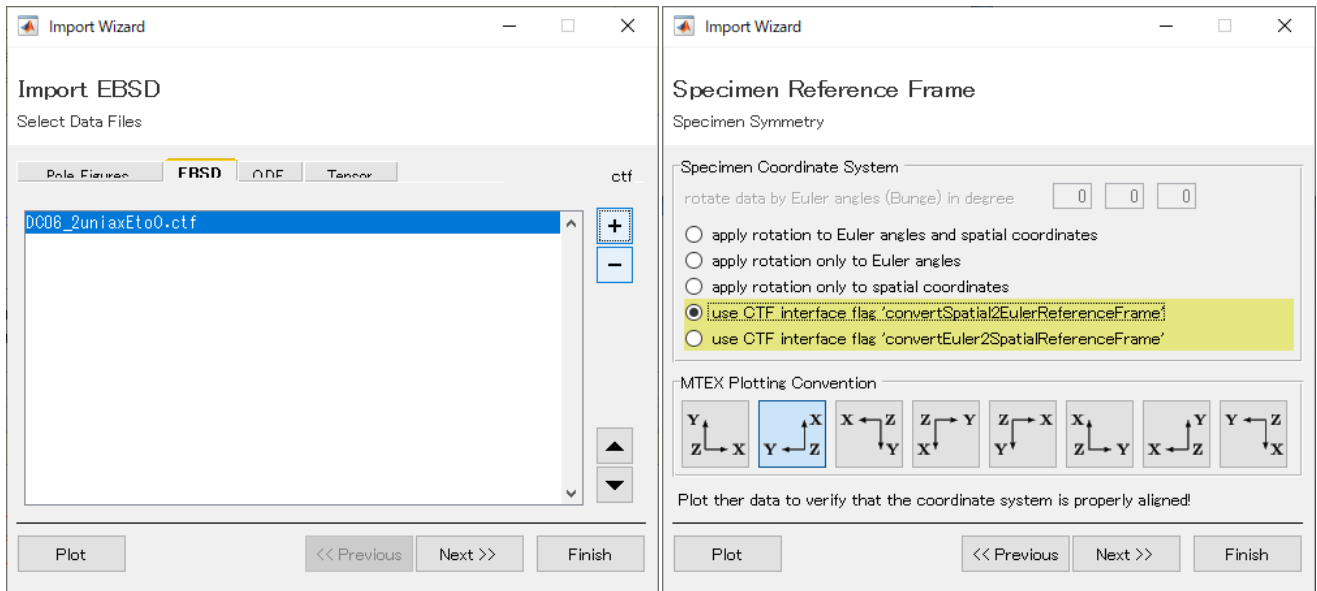
この分散処理は L a b o T e x 管理下の J o b データに対し、G P O D F D i s p l a y ソフトウェアで行います。

新設された J o b データはそのまま L a b o T e x で処理できます。

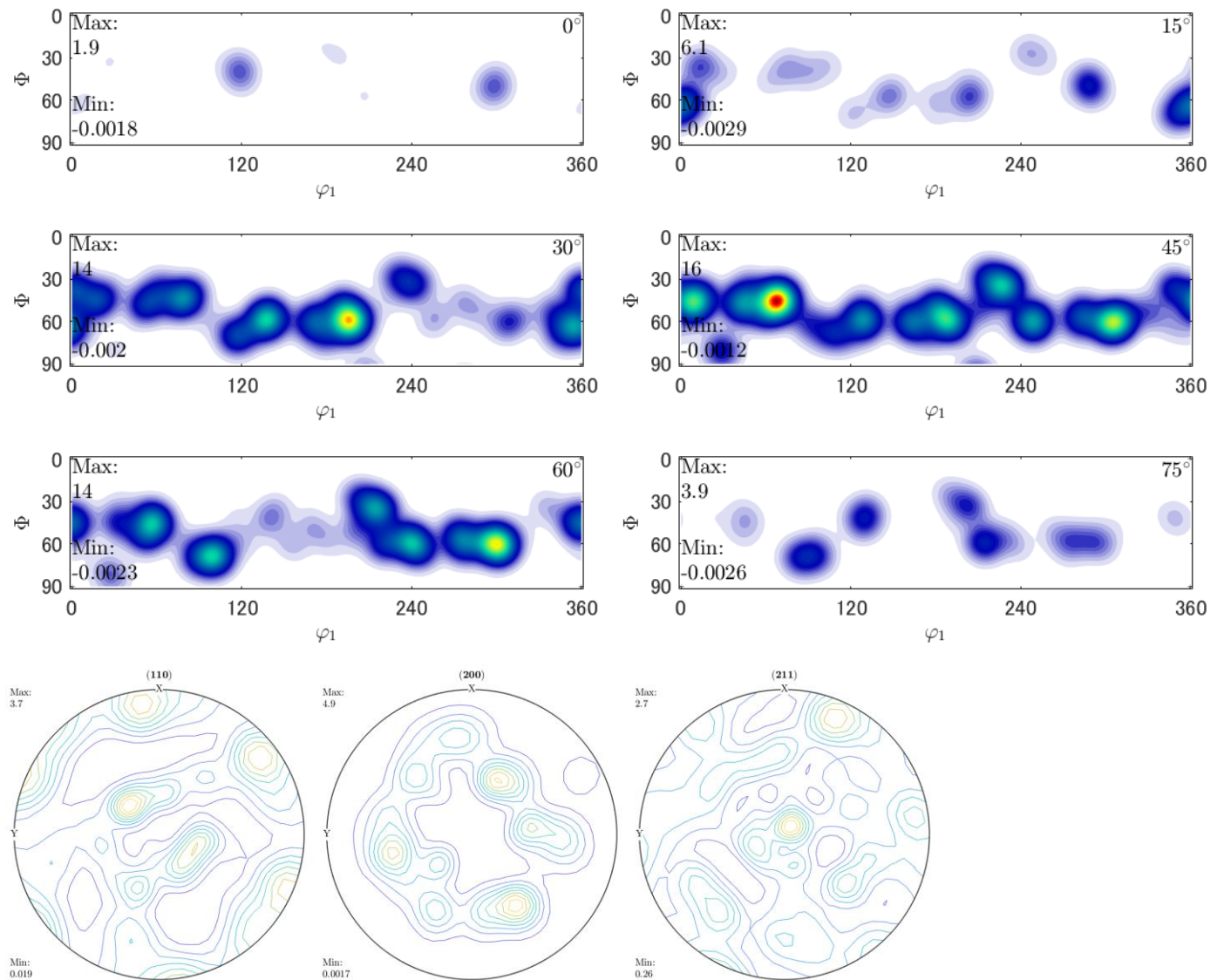


以下にM T E X と比較を行う。

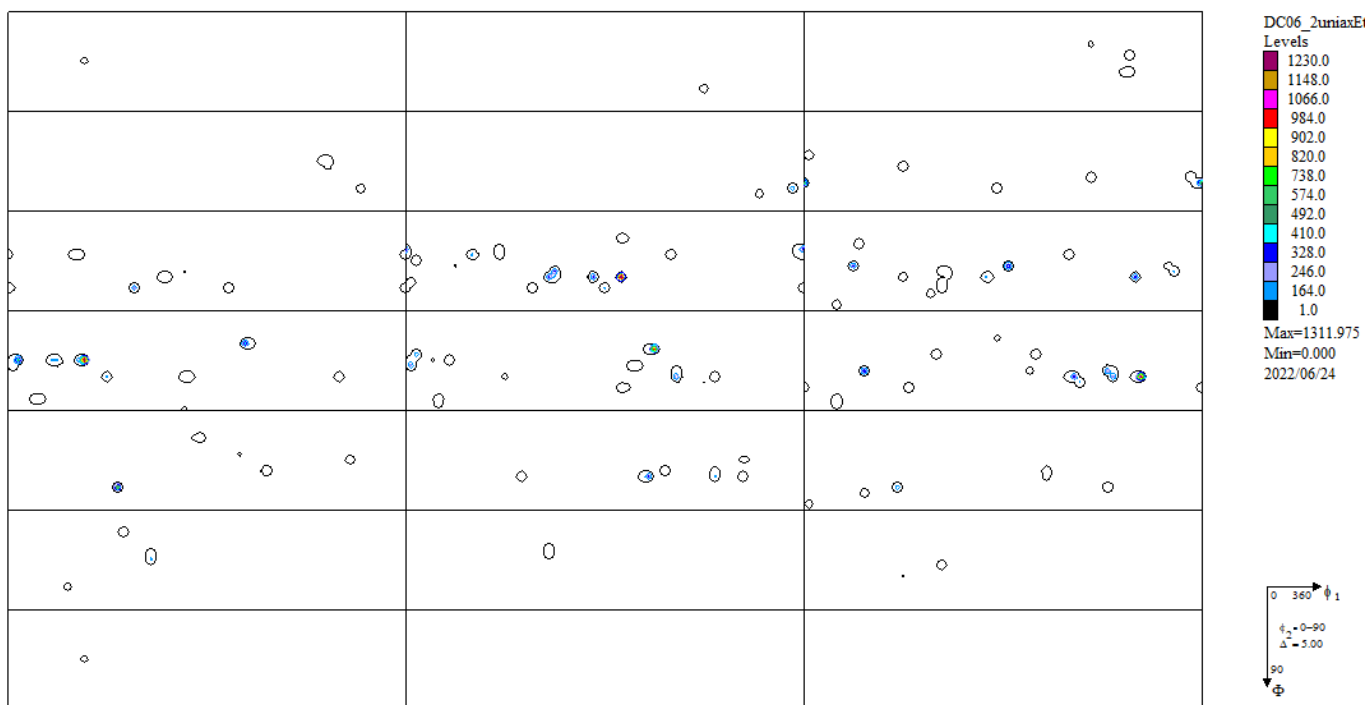
MT E Xで解析



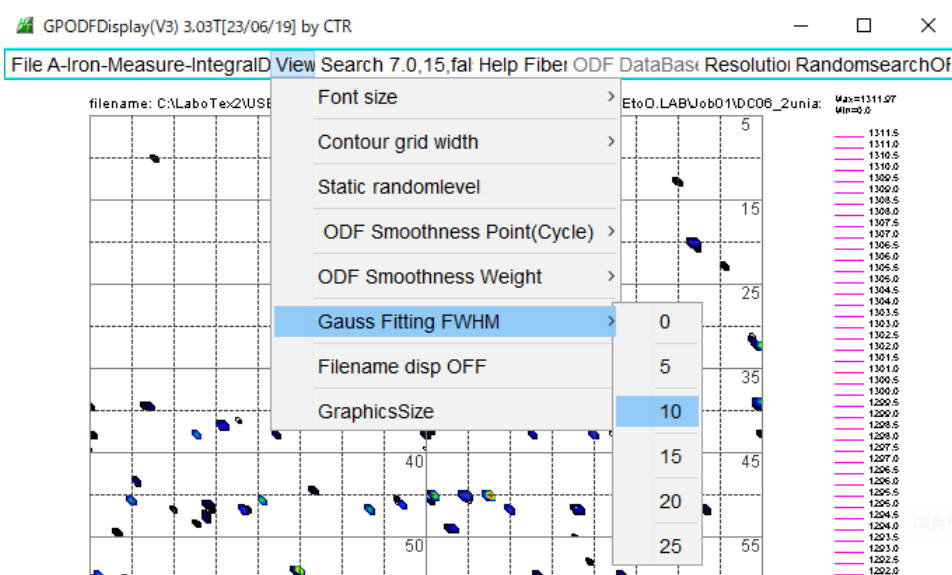
Odf=CalcDensity(ans.orientations,'halfwidth',10.0*degree)



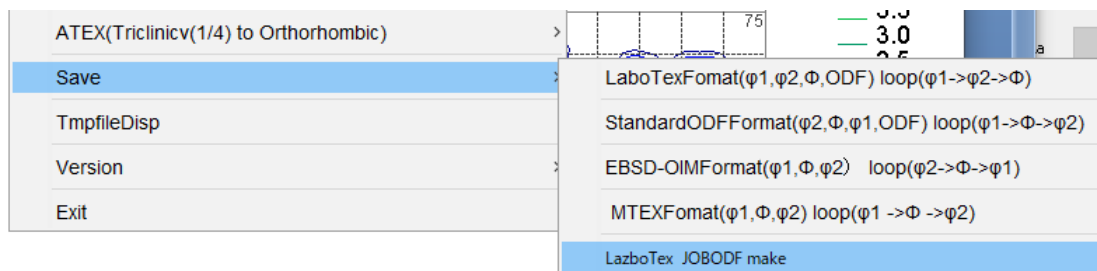
LaboTexで解析



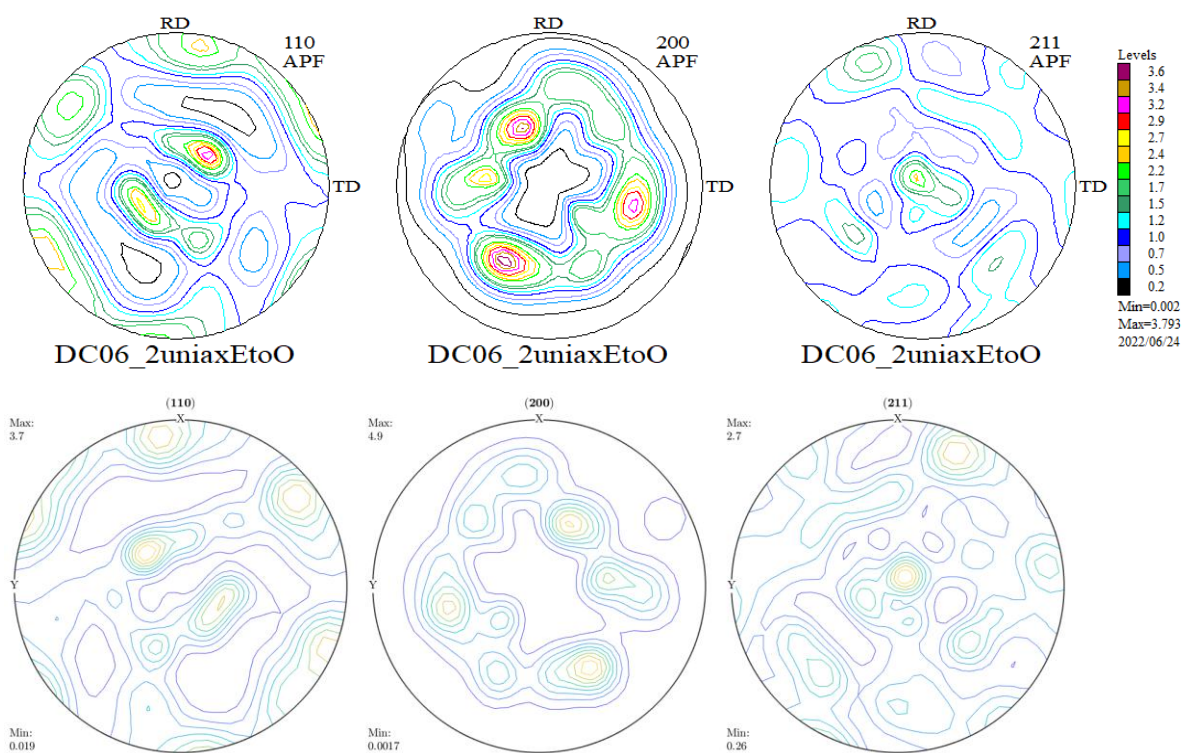
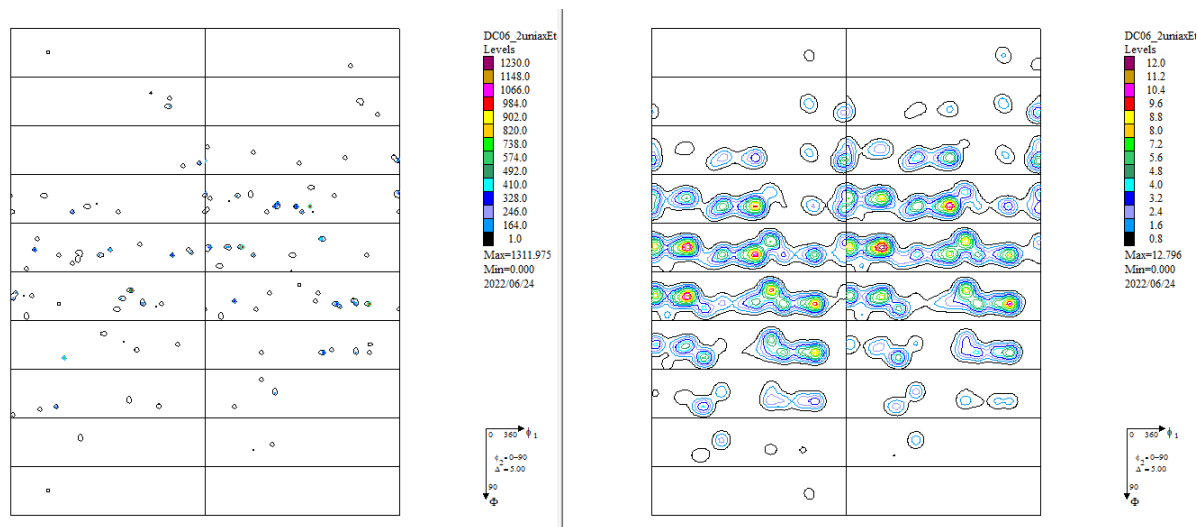
GPODFDisplay で Job1/ODF ファイルを読み込み分散処理を行う



処理結果から J o b ファイル作成



分散処理前と処理後



MTEX (CCW) と LaboTex (CW) ではTD方向 (極点図の回転) が異なります。

極点図をExportしMakePoleFileでCCW回転に統一されます。